

2015年医学部第1問

**1枚目/2枚**

- 1 放物線  $C: y = x^2$  上に異なる2点  $P, Q$  をとる。 $P, Q$  の  $x$  座標をそれぞれ  $p, q$  (ただし,  $p < q$ ) とする。直線  $PQ$  の傾きを  $a$  とおく。以下の問いに答えよ。

- (1)  $a$  を  $p, q$  を用いて表せ。
- (2)  $a = 1$  とする。直線  $PQ$  と  $x$  軸の正の向きとなす角  $\theta_1$  (ただし,  $0 < \theta_1 < \pi$ ) を求めよ。
- (3)  $a = 1$  とする。放物線  $C$  上に点  $R$  をとる。 $R$  の  $x$  座標を  $r$  (ただし,  $r < p$ ) とする。三角形  $PQR$  が正三角形になるとき、直線  $PR$  と  $x$  軸の正の向きとのなす角  $\theta_2$  (ただし,  $0 < \theta_2 < \pi$ ) を求めよ。また、このとき直線  $PR$  の傾き、および直線  $QR$  の傾きを、それぞれ求めよ。さらに、正三角形  $PQR$  の面積を求めよ。
- (4)  $a = 2$  とする。放物線  $C$  上に点  $S(1, 1)$  をとる。三角形  $PQS$  が  $\angle S = \frac{\pi}{2}$  である直角三角形になるとき、この三角形の面積を求めよ。

$$(1) a = \frac{q^2 - p^2}{q - p} \quad \therefore a = p + q \quad //$$

$$(2) \tan \theta_1 = a = 1 \quad \therefore 0 < \theta_1 < \pi \text{ より}, \quad \theta_1 = \frac{\pi}{4} \quad //$$

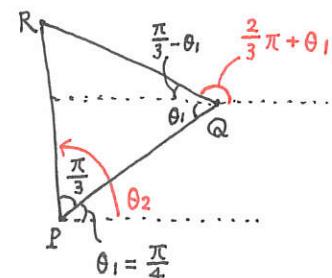
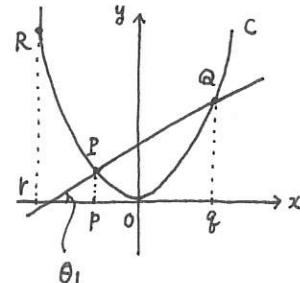
$$(3) \text{右図より}, \quad \theta_2 = \theta_1 + \frac{\pi}{3} = \frac{7}{12}\pi \quad //$$

$$(\text{直線 } PR \text{ の傾き}) = \tan \theta_2$$

$$= \tan\left(\frac{\pi}{4} + \frac{\pi}{3}\right)$$

$$= \frac{1 + \sqrt{3}}{1 - 1 \cdot \sqrt{3}}$$

$$= -2 - \sqrt{3} \quad //$$



$$(\text{直線 } QR \text{ の傾き}) = \tan\left(\frac{2}{3}\pi + \theta_1\right)$$

$$= \tan\left(\frac{2}{3}\pi + \frac{\pi}{4}\right)$$

$$= \frac{-\sqrt{3} + 1}{1 - (-\sqrt{3}) \cdot 1}$$

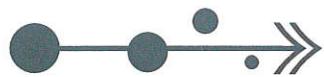
$$= \sqrt{3} - 2 \quad //$$

$$(1) \text{と同様に計算すると}, \quad (\text{PRの傾き}) = p + r = -2 - \sqrt{3} \quad \cdots ①$$

$$(\text{QRの傾き}) = q + r = \sqrt{3} - 2 \quad \cdots ②$$

$$\textcircled{1} - \textcircled{2} \text{ より}, \quad p - q = -2\sqrt{3} \quad \text{これと } p + q = a = 1 \text{ より}, \quad p = \frac{1}{2} - \sqrt{3}, \quad q = \frac{1}{2} + \sqrt{3}$$

**2枚目につづく**



2015年医学部第1問

2枚目 / 2枚

- 1 放物線  $C: y = x^2$  上に異なる2点 P, Q をとる。P, Q の  $x$  座標をそれぞれ  $p, q$  (ただし,  $p < q$ ) とする。直線 PQ の傾きを  $a$  とおく。以下の問いに答えよ。

- (1)  $a$  を  $p, q$  を用いて表せ。
- (2)  $a = 1$  とする。直線 PQ と  $x$  軸の正の向きとなす角  $\theta_1$  (ただし,  $0 < \theta_1 < \pi$ ) を求めよ。
- (3)  $a = 1$  とする。放物線  $C$  上に点 R をとる。R の  $x$  座標を  $r$  (ただし,  $r < p$ ) とする。三角形 PQR が正三角形になるとき、直線 PR と  $x$  軸の正の向きとなす角  $\theta_2$  (ただし,  $0 < \theta_2 < \pi$ ) を求めよ。また、このとき直線 PR の傾き、および直線 QR の傾きを、それぞれ求めよ。さらに、正三角形 PQR の面積を求めよ。
- (4)  $a = 2$  とする。放物線  $C$  上に点 S(1, 1) をとる。三角形 PQS が  $\angle S = \frac{\pi}{2}$  である直角三角形になるとき、この三角形の面積を求めよ。

(3) のつづき

$$\begin{aligned} PQ^2 &= (p-q)^2 + (p^2-q^2)^2 \\ &= (-2\sqrt{3})^2 + (-2\sqrt{3})^2 \\ &= 24 \\ \therefore \triangle PQR &= \frac{1}{2} \cdot PQ^2 \cdot \sin 60^\circ = \underline{6\sqrt{3}} \end{aligned}$$

$$(4) (1) より, p+q=a=2 \cdots ③$$

$$(SP \text{ の傾き}) = p+1, (SQ \text{ の傾き}) = q+1$$

$$SP \perp SQ \text{ より}, (p+1)(q+1) = -1$$

$$\therefore pq + p + q + 1 = -1 \quad \therefore pq = -4 \cdots ④$$

③, ④, 解と係数の関係より,  $p, q$  は,  $x^2 - 2x - 4 = 0$  の解である。

$$p < q \text{ より}, p = 1 - \sqrt{5}, q = 1 + \sqrt{5} \quad \therefore P(1 - \sqrt{5}, 6 - 2\sqrt{5}), Q(1 + \sqrt{5}, 6 + 2\sqrt{5})$$

$$\therefore SP^2 = (-\sqrt{5})^2 + (5 - 2\sqrt{5})^2 = 50 - 20\sqrt{5}$$

$$SQ^2 = (\sqrt{5})^2 + (5 + 2\sqrt{5})^2 = 50 + 20\sqrt{5}$$

$$\therefore SP^2 \cdot SQ^2 = (50 - 20\sqrt{5})(50 + 20\sqrt{5}) = 500 \quad \therefore SP \cdot SQ = 10\sqrt{5}$$

$$\therefore \triangle PQS = \frac{1}{2} SP \cdot SQ$$

$$= \underline{5\sqrt{5}}$$